

トラスト12号地 (上尾市)

トラスト2号地 (所沢市)



## 未知の価値観と共生の考えかた

明けましておめでとうございます。昨年、一昨年は社会全体が、新型コロナウイルスによる感染症への対応で、一年が過ぎたような気がします。ウイルスによる感染症は深刻ですが、同時にこの間、ウイルス全般についての研究は一気に進みました。例えばネオ(新)ウイルス学によれば、人間の臓器の総てにウイルスは宿っていることが明らかになりました。生命のすべてとウイルスのような半生命体は共生していて、互いに支え合っているのが実相のようです。

昨年、私はある雑誌の「里山とSDGs」の特集に一文を寄稿しました。SDGsがサステナブル(永く維持する)な社会を目指すならば、さまざまな生物が共生できる世界を目指す、というところに究極の目標がなければなりません。共生の哲学を志向するということです。それは、異なる意見、異なる存在も排除しないということです。また別な雑誌には「埼玉のトラスト地は未来に残す国の宝だ」と書きました。エネルギー革命によって、薪炭林としての里山の価値は消え失せたもののように考えられてきました。里山の存在は、一見使用されなくなって、やっかいなもの、意味のない存在であるかのように扱われてきたのです。

ところが、使用する価値もないと思われてきた里山が、環境への負荷を緩和し、貴重な生物の生息地を確保し、人々の心に安らぎを与え、また温暖化の抑制や、未知の遺伝子プールとしても重要であると考えられるはじめています。私自身の研究でも、都市の近くにある里山の存在が都市のヒートアイランド現象を抑制する、という結果が得られています。さらに、未来への遺産としては未だ隠れている、あるいは現在の時点でわれわれが知り得ない未知の価値を包含している、ということも言えるでしょう。

新型コロナウイルスの蔓延によって、社会にさまざまな変化が加速させられています。私の大学での講義もオンライン授業となり、簡便に、意外に親しく会話を交わすことができることに気づかされた一方で、互いに同じ教室空間で、顔を合わせて話し合うことの大切さを痛感することでもありました。未来を考えるのには、目先の利害や既に知られている価値ばかりでなく、今後発見されるべき未知の価値を含有する空間を保存してゆくことが、われわれ現代に生きる者にとって、大切なことであるように思われます。

前法政大学地理学会会長  
細田 浩

# イベントのお知らせ

## 山崎山の雑木林 自然観察会と保全作業

**2月12日(土)** 9時30分～11時30分(小雨決行)  
雨天の場合は2月20日(日)に延期

**集合場所** 「新しい村」ステージ前 9:30  
宮代町字山崎777-1

**参加費** 無料 **申込** 不要

- ▶ 里山保全に興味のある方や、自然の中で身体を動かしてみたい方は是非ご参加ください。
- ▶ 共催：宮代町



## 狭山湖とトラスト樹林地の冬鳥

**2月19日(土)** 9時30分～14時30分  
(雨天中止)

**集合場所** 西武狭山線西武球場前駅 9:30

**持参** 昼食など

**協会員** 無料 **一般** 300円

20人先着順 締切2月15日(火)

- ▶ 狭山湖とトラスト保全地で野鳥観察を開催します。



## 第22回さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール入賞作品展示会

**2月9日(水)～2月24日(木)**  
8時30分～17時(ただし、初日は14:30から、最終日は12:00まで)

**場所** 大宮第二公園ギャラリー  
さいたま市大宮区寿能町2-405 ☎048-642-2228

**参加費** 無料

## トラスト地散策と シイタケのコマ打ちを楽しもう

**3月5日(土)** 10時～14時

**集合場所** 下記の2つから選択

- ①東武東上線武蔵嵐山駅改札口 9:00
- ②JA埼玉中央嵐山農産物直売所 9:15

**持参** 昼食、敷物など

**協会員** 300円

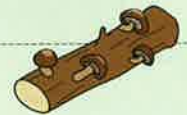
**一般** 500円

30人(抽選)  
2月15日(火)消印有効



**申込** 往復はがきに①代表者名 ②グループ全員の名前(学年) ③住所 ④電話番号 ⑤会員/一般の別 ⑥集合場所を明記し、協会まで送付。申込締切後抽選の上、返信はがきにてご案内いたします。

- ▶ 作ったシイタケの原木はお一人様1本お持ち帰りいただけます。



### 【対象】

中学生以上。小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

### 【持ち物・服装】

< 共通 > 筆記用具、水筒、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴でご参加ください。

< 自然・野鳥観察会 > 双眼鏡、図鑑などの観察用具、雨具、帽子

< 保全活動 > 軍手、作業靴、帽子

< クラフト工作 > 軍手

**【申込】** トラスト協会事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

各イベント等の詳しい説明は、ホームページをご覧ください。

申し込みはこちら



### ご案内

ホームページ ● 入会やイベントの申込ができます。 [さいたま緑のトラスト 検索](#)

メールリスト ● イベントの募集や環境保全に関する相談など、気軽に情報交換が行える場として開設しています。

自然に関するテーマであれば、協会員の方は誰でも投稿可能です。

申込：メールにて、お名前、連絡先、会員番号をトラスト協会までご送付ください。

宛先：main@saitama-greenerytrust.com



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者  
(10万円以上、令和3年9月から11月)

アイル・コーポレーション株式会社	さいたま農業協同組合
クリーンシステム株式会社	関口工業株式会社
アイバ産業株式会社	関口工業グループ 清和会
株式会社 システムアドバンス	公益社団法人
株式会社 埼玉ロジテック	埼玉県宅地建物取引業協会
株式会社 飯塚建設	三立建設株式会社
埼玉県倫理法人会	他匿名希望2個人、1法人

[敬称略]



さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者  
(5万円以上、令和3年9月から11月)

匿名希望1個人

[敬称略]



新しく会員になられた方々  
(令和3年9月から11月)

【個人】 6人(うち永年1人)

[敬称略]

【家族】 2家族(6人)

[敬称略]

【法人】 ピサジャパン合同会社

[敬称略]

< 会員数(11月末現在) > 1,435人・団体



# 黒浜沼のいきものたち



ジョウロウスゲ



ウチワヤンマ



アオモイトトンボ



オオタカ



キジ

## 歴史が伝える自然環境

黒浜沼（上沼）周辺の湿地に広がる田んぼとヨシ原および付近の屋敷林が一望できる辺りは、江戸時代から「黒浜八景」の一つに数えられ、夏は溜堤の風堂と称される風光明媚な納涼の場所でもあったようです。このまとまった自然環境の中に、いろいろな生物が生息しています。

野鳥は150種類が確認され、代表的なものはキジ、ダイサギ、カルガモなど。オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、サシバなどの猛禽類も観察でき、当地域が生物多様性に富むことの証にもなっています。植物は絶滅危惧種であるジョウロウスゲの群生は県内屈指とも云われ、ナガボノシロ（アカ）ワレモコウも年々広がりを見せています。湿地の特徴的な生き物トンは、ウチワヤンマ、アオモイトトンボ、ホソミアツネントンボ、マイコアカナなど。このところ新たな発見もあり現在37種類が確認されています。

真夏の夜は、ハイケボタルを鑑賞することもできます。因みに、トラスト11号地を含む「黒浜沼（上沼・下沼）と周辺湿地・ヨシ原」は2015年、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されました。

11号地ボランティアスタッフ  
山本 昌弘

## トラスト 昆虫 8

コウチュウ目コガネムシ科

# カブトムシ (Trypoxylus dichotomus)



ツツミ 塘 久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけしています。

カブトムシと言えば子供たちに人気の昆虫で、夏休みの夜、雑木林は樹液を見て回る親子連れの姿で賑わいます。しかし真冬にカブトムシの幼虫を探して回るのもなかなか楽しいですよ。1月の観察会では朽ち木の下などで丸々と太った幼虫がゴロゴロと見つかり、子供たちが歓声をあげます。

ある報告ではカブトムシの体重は幼虫の時はおよそ20～40グラム。これが成虫になると10～20グラムに減るそうです。つまり幼虫の方が重いのです。蛹になって変態をする昆虫の場合、蛹の中で身体を作り変えるのに、大きなエネルギーを消耗するため、成虫の方が小さくて軽くなってしまうんですね。

トラスト地では落ち葉などを保管する「落ち葉溜め」を作っていることが多く、栄養豊富な腐葉土をたっぷり食べて育ったカブトムシはとて大きくなります。成虫より大きい幼虫ですから持つとずっしりと重量感がありますよ。  
(塘 久夫)



カブトムシ成虫



カブトムシ幼虫



# 令和3年度 緑のボランティアセミナー (報告)

日時：9月4日(土)～11月13日(土) 全6回  
会場：トラスト保全地含む県内各地  
研修生：21名 (うち修了者19名)

緑のトラスト運動に必要な知識と技能を習得するためのセミナーを開催し、座学・野外の実技を受講いただきました。  
修了した方々は、各号地のボランティアスタッフとして活動されます。

## 研修を終えて

研修生 古賀 勇治

自然に少しでもご興味のある方は、是非研修されることをお勧めします。

個性的、情熱的な先生方の講義・トラスト地を含む自然の中での実技は面白く興味深い。ついついこちらの気持ちも引きずり込まれてしまった。含蓄のある説明や経験は、なるほどと合点がいき、今まで知らなかった自然の世界を覗かせて頂いた。自然以外の話の内容でも本当に涙が出そうになったことも。同時に研修生の世代も多様で皆さん(特に若い方)積極的かつ柔軟で素晴らしい。先生・研修生から学びの喜びと感性を揺さぶられた。



観察指導

大袈裟に言えば、この研修がきっかけで世の見方が変わった。見方が変われば習慣も変わり、習慣が変われば人生も変わる。先生方・研修同期並びに関係スタッフの方、本当にありがとうございました。

## 緑のボランティアセミナーを終えて

研修生 村野 裕子

現在、子育て支援に携わっている私は、幼少期より自然の中で遊ぶのが大好きでした。その影響もあり乳幼児親子と共に屋外で遊ぶ広場を運営しています。屋外で遊ぶための正しい知識を身に付けたい!と願い、この研修に参加をしました。

研修は充実した内容で、期待をはるかに超えるものでした。

講義は自然に対する知識のみではなく、活動に対する心構えや危機管理について等たいへん勉強になる内容ばかり。そしてフィールドでの実践は、植物の名前や生態系についての学び、間伐など楽しい時間でした。

何よりも素晴らしかったのは、全ての講師の方がとても楽しそうに活動していること、関わる事務局の方々もユニークで暖かいこと、共に学んだ愉快的仲間が出来たこと! 今回の学びを仕事に活かすと共に、ボランティアも行いたいです。ありがとうございました。



伐採

## 会員の集い(公開講座)(報告)



11月13日(土)令和3年度ボランティアセミナー修了式を兼ねた「会員の集い(公開講座)」が、さいたま共済会館で開催され、会員、ボランティアスタッフ約60名の方々にご参加いただきました。今年度は19名の研修生が全課程を受講し、太田理事長より修了証書を授与されました。

### 公開講座では

牧野副理事長が「埼玉から見るフット・プリント」と題し

て、人の活動が地球環境に大きな影響を与えている現状を、川越の歴史などを参考にお話いただきました。

小峯理事は「トラスト地のナラ枯れ被害と防除の現状」について、実践やデータに基づき、お話いただきました。トラスト地やその周辺で昨年より、コナラのナラ枯れがまん延していて、対策の重要性を認識しました。

当協会の太田理事長は「持続可能な社会での森の役割」と題して、森林の多面的機能の種類や原理の関係、森林の管理の大切さ、今話題のSDGsやFSCの森林認証についてお話いただきました。

私たちは、トラスト地という小さい範囲ですが、陸の生態系を守っていく重要な役割を担っていることを痛感しました。



牧野副理事長



小峯理事



太田理事長

## トラスト5号地の自然体験会

10月24日(日)トラスト5号地で、自然観察(昆虫・植物)、木の伐採、クラフト工作体験を行いました。

晴天に恵まれ、参加者の皆さんは満喫出来たようです。クラフト作品を大事そうに抱えて帰る子供たちが印象的でした。



伐採体験



クラフト工作

## トラスト1号地の竹の伐採体験

12月4日(土)トラスト1号地で竹の伐採体験を行いました。天候にも恵まれ、暖かい日差しを浴びながら、皆さん楽しんでいました。

また、希望した方には伐採した竹を持ち帰っていただきました。



ドングリぼうや

### 公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内

電話 ▶ 048(824)3661 ファックス ▶ 048(832)0292

ホームページ ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>

メール ▶ [main@saitama-greenerytrust.com](mailto:main@saitama-greenerytrust.com)

当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

### ●会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小中・高校生	1人	1,000円
	永年(一括納入)	1人	15,000円
家族	1家族		3,000円
法人	1口		10,000円



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C008422

トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。